

長野市ケア会議

テーマ

日常生活上の課題を解決するために、組織・地域でできること
～自助・互助・共助・公助の視点から考える～

○ 課題と背景・現状

地域ネットワーク会議等において、「部屋の片付け、ゴミ出し、買い物などの家事支援」及び「施設入所中の着替えや必需品の調達」などの介護サービスで対応できない日常生活上の課題が検討されることが多い。

さらに、現在国が進めている「ケアマネジメントに係る諸問題に関する検討会」において、当該日常生活支援がケアマネジャーの法定外業務という形で整理が行われているところ。

このことを踏まえ、日常生活上の課題への対応策を既存のサービスの活用やインフォーマル資源の活用することも含めて、情報共有を図りたい。

(1) 部屋の片付け、ゴミ出し、買い物などの家事支援

問題点

- ①身体状況の低下や認知症の進行により、家事ができなくなる
- ②ゴミ出し・片付けが出来ないことで、不衛生環境による本人の健康被害や火災リスク・悪臭などの近隣トラブルにつながる
- ③核家族化の進行による支援者(親族)が不在

(2) 病院入院や施設入所の着替えや必需品の調達

問題点

- ①身体状況の低下や認知症の進行により、自分で必需品を準備することに困難がある
- ②準備が個人でできないことで担当ケアマネジャーや包括職員等の支援者が担うようになり、業務負担が増加している